



稚咲内砂丘林自然再生事業 平成26年度の実施状況〔概要〕

平成27年3月5日

林野庁 北海道森林管理局

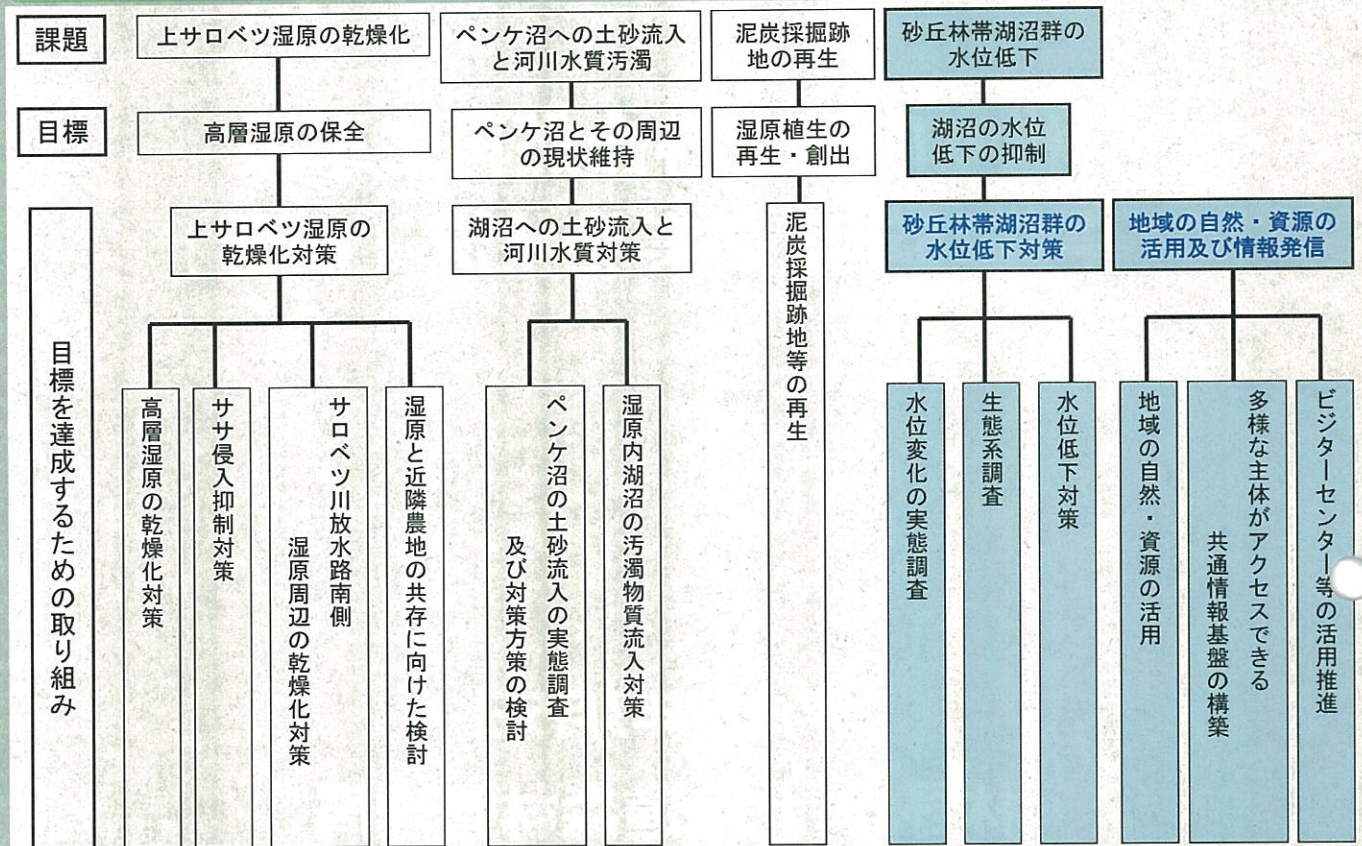
写真提供：岡田操氏

本日の内容

- I 稚咲内砂丘林
自然再生事業実施計画の概要

- II 平成26年度の取組状況
(調査・検討結果)

上サロベツ自然再生全体構想における 本事業の取り組みの位置付け



稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画書の概要

- 稚咲内砂丘林は、サロベツ湿原と日本海の間の砂丘列上に成立
- 大部分は国有林で砂丘列間に大小様々な100個以上の湖沼が存在
- 稚咲内砂丘林には独特な森林・湖沼生態系が形成
- 国立公園や稚咲内海岸砂丘林植物群落保護林などに指定
- 過去の多様な人間活動

- 湖沼では水位低下が懸念
- トドマツの立枯れの発生

【自然再生の目標】

- (1) 砂丘林帯湖沼群の水位低下を抑制する。
- (2) 砂丘林を修復及び保全する。

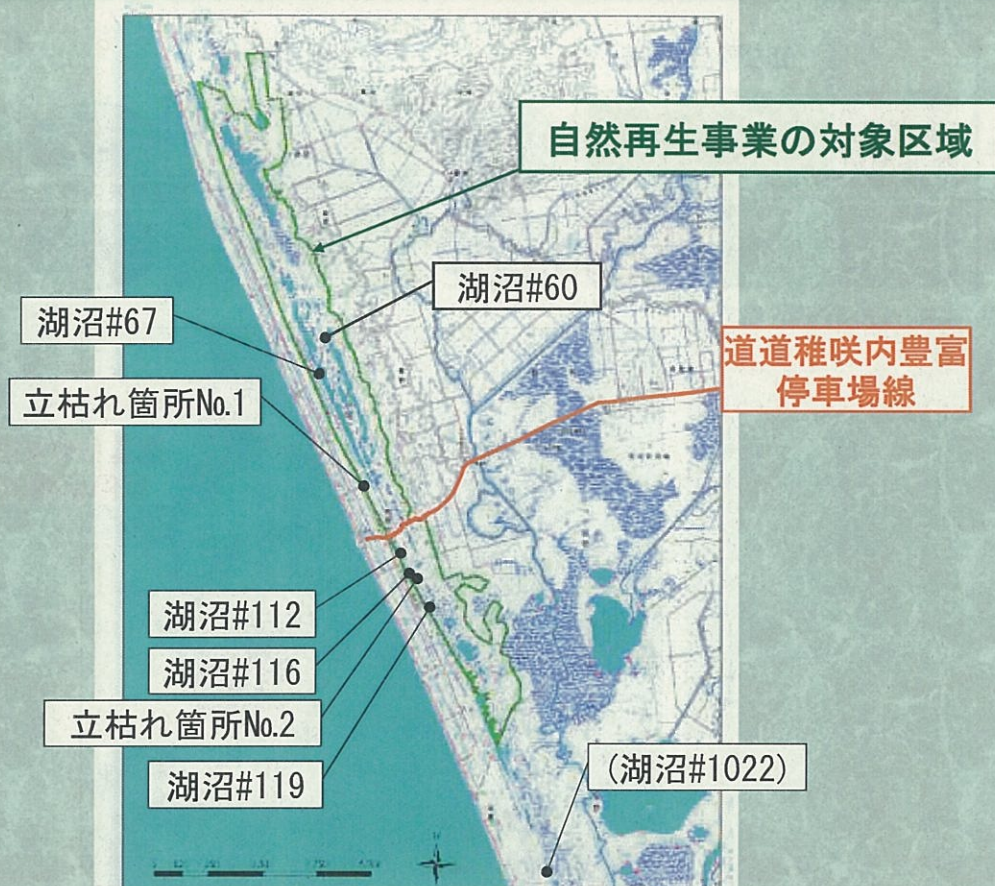
稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画の策定

稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画書の概要

取組事項	取組内容	実施方法	対象箇所
水位低下の抑制	開放水面面積の減少が大きい湖沼について、水位低下の抑制を行う。	植栽	湖沼#112、#116、#119
		堆雪柵の設置	湖沼#112、#116、#119
砂丘林の修復及び保全	砂丘林が急激に枯れている箇所について、樹林の修復や保全を行う。	植栽	立枯れ箇所No. 1、No. 2
継続的に現状を把握する事項	砂丘林帯湖沼群や上サロベツ湿原において、現状では自然環境の保全上大きな問題となっていないものの、将来問題となる懸念がある右の事項については、今後も継続的に現状の把握を行う。	砂丘林帯湖沼水位の低下（開放水面面積の減少）及び水質・水生生物の変化の把握	湖沼水位：湖沼#60、#67、#112、#116、#119 湖沼水質：湖沼#60、#67、#112、#119 地下水位：#119 水生生物：湖沼#60、#67、#112、#119
		トドマツの異常な立枯れの発生状況の確認	全域
		外来生物の侵入状況の確認	全域
		エゾシカの食害の発生状況	全域
		幌延町の砂丘林帯湖沼群の状況確認	全域 (湖沼水位・水質は#1022で実施)

4

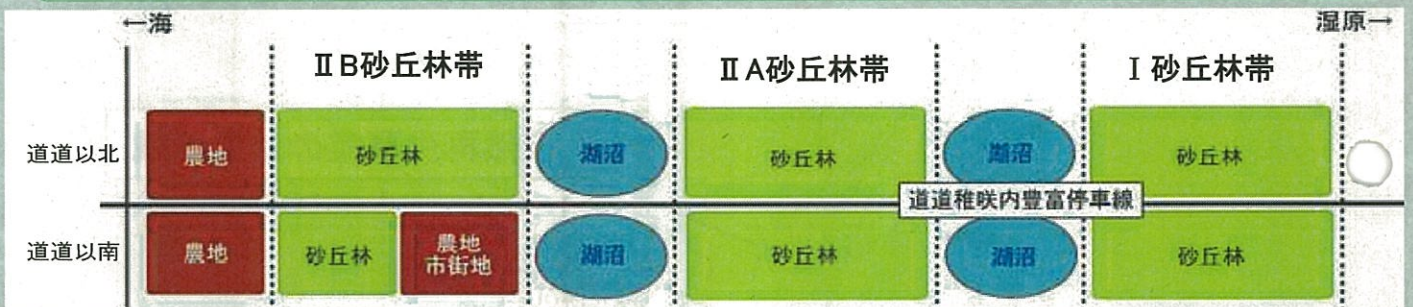
稚咲内砂丘林自然再生事業実施箇所



5



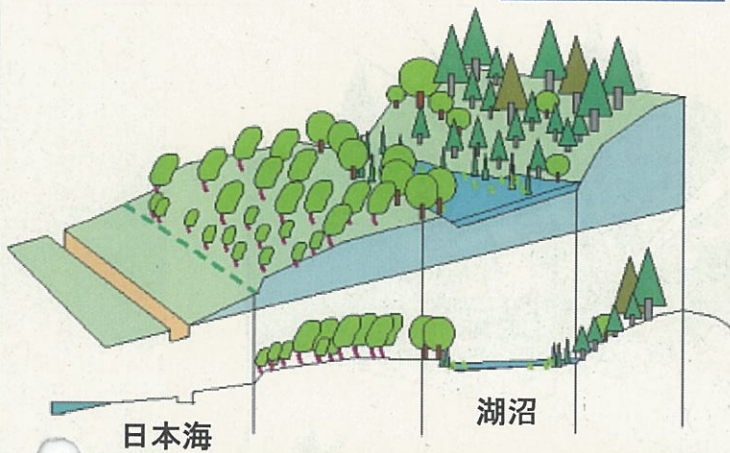
砂丘林帯及び湖沼群の構造



道道稚咲内豊富停車場線

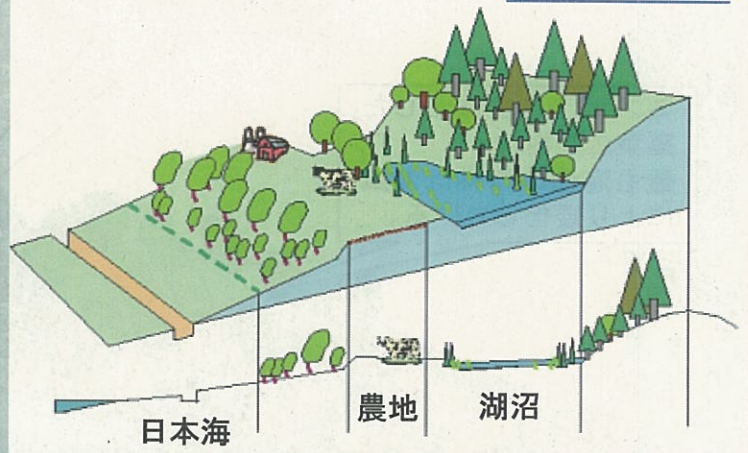
砂丘林帯及び湖沼群の構造

道道以北模式図



第ⅡB砂丘林帯 第ⅡA砂丘林帯

道道以南模式図



第ⅡB砂丘林帯 第ⅡA砂丘林帯

砂丘林及び湖沼群の現状

開放水面面積の減少

砂丘林帯と農地や市街地との境界線

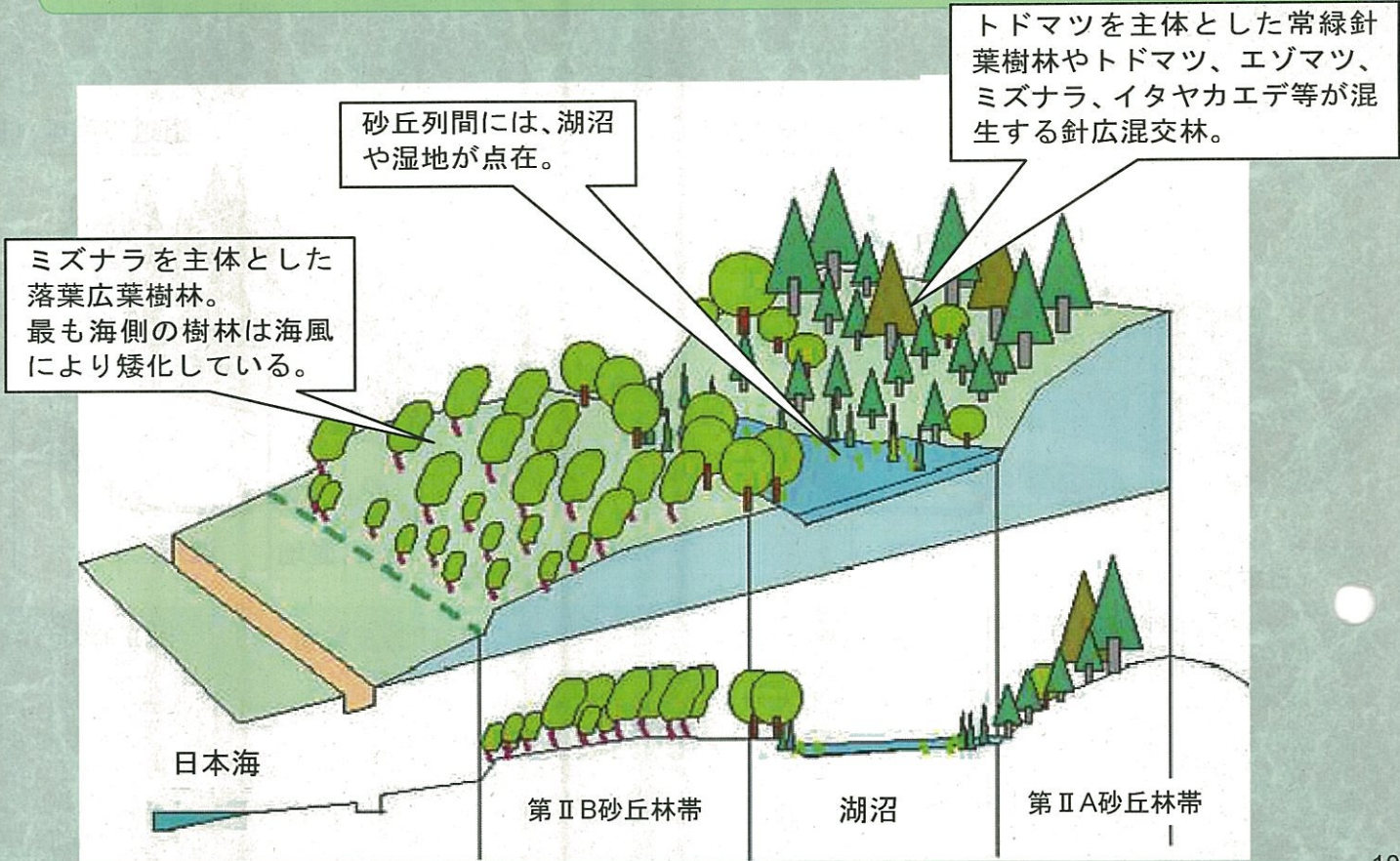


道道稚咲内豊富停車場線

開放水面面積減少率の高い上位50位の湖沼(黄色)の位置

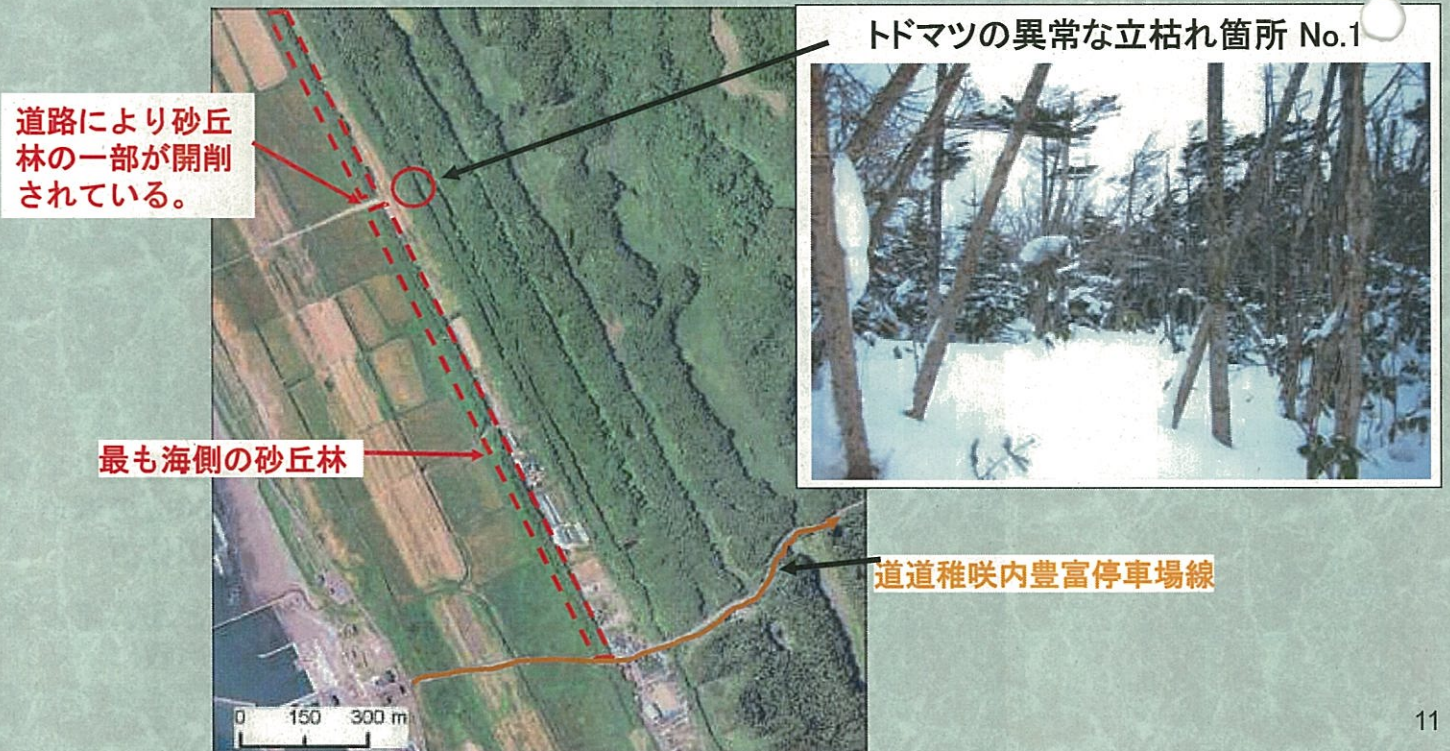
(1947年と2005年の空中写真の比較による)

砂丘林帯の植生の状況



砂丘林及び湖沼群の現状

トドマツの異常な立枯れ①



砂丘林及び湖沼群の現状

トドマツの異常な立枯れ②



トドマツの異常な立枯れ箇所 No.2



12

本日の内容

- I 稚咲内砂丘林
自然再生事業実施計画の概要

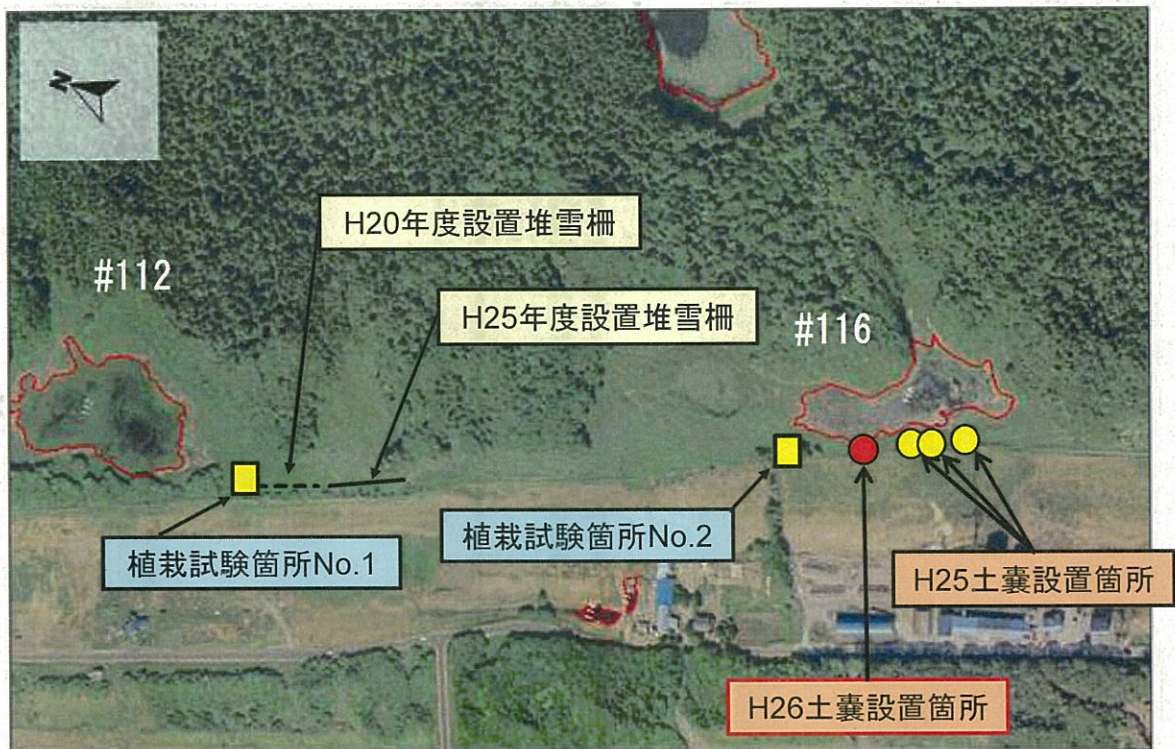
- II 平成26年度 of 取組状況
(調査・検討結果)

13

稚咲内砂丘林自然再生事業【年度別調査項目】

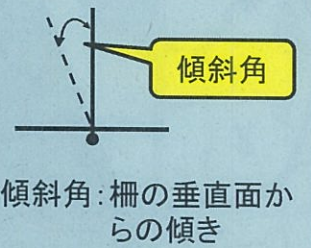
調査対象区域	調査項目	調査実施年度		
		H24	H25	H26
稚咲内砂丘林	湖沼水位、水質調査	○	○	○
	地下水位調査	○	○	○
	雨量、積雪深調査	○	○	○
	風向風速調査	○		
	堆雪柵の設置		○	
	堆雪柵の点検	○	○	○
	森林調査	○		○
	ミズナラ植栽試験地	○	○	○
	植物(水生植物)	○		○
	動物(魚類)	○		○
	昆虫(底生動物)	○		○

湖沼#112及び#116の水位低下の抑制



堆雪柵の点検

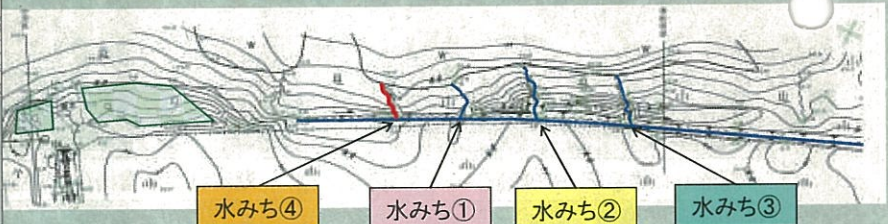
○湖沼#112の堆雪柵(H20年設置)、湖沼#119の堆雪柵(H25年設置)は、腐れは確認されず、堆雪機能に支障はなかった。
 ○湖沼#119の堆雪柵(H20年設置)は、沼への沈み込みや湿原側への傾きが確認され、今後、傾斜状態のモニタリングが必要と考えられた。現段階においては、風下側に雪のたまりがみられたことから、十分に雪溜め効果は発揮されている。



堆雪状況



湖沼#116の土嚢の設置



植栽木生育状況

○結果

- ・雑草抑制マットを設置した個体の生存率は66.7%とマットを設置しなかった個体よりも高かった。
- ・平均生長量も雑草抑制マット設置した方が大きかった。

ミズナラ 試験植栽地点	No.1(湖沼#112):67個体						No.2(湖沼#116) :40個体		
	雑草抑制マット有			雑草抑制マット無					
調査年	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
生存個体数	30	22	20	37	23	15	40	39	12
生存率(%)	100.0	73.3	66.7	100.0	62.2	40.5	100.0	97.5	30.0
平均成長量(cm)	—	0.7	11.1	—	0.4	5.2	—	8.9	8.3
平均樹高(cm)	14.4	15.1	26.2	15.6	16.4	21.4	15.6	24.5	34.4